

令和2年度
自己評価・学校関係者評価（西光院マヤ幼稚園）

教育目標 ・ 健康で明るい子 ・ 心豊かな子 ・ がんばる子

※4段階(A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)で評価する

評価項目	自己評価
1. 教育目標について	
教育目標を理解し子ども達に指導することができた。	B
子ども達が元気よく挨拶が出来るようあらゆる場面で指導した。	
明るく元気な子どもの育成に努めた。	
子ども達一人一人の特徴を観察し尊重することができた。	
毎日の活動で社会的な生活習慣を身に付ける為の指導を十分に行った。	
平日頃から子どもの頑張りを認めるよう努め、指導した。	
心豊かな子の育成に努めた。	
2. 教育計画について	
指導計画作成にあたり、子どもの成長状況を把握し配慮している。	B
指導計画作成には、園の教育方針が生かされている。	
指導計画には、教育内容に対する自身の考えを十分盛り込んで作成した。	
行事等の計画とその運営は適切であった。	
計画の変更は、状況により随時行えるよう順応性を考慮している。	
3. 教育活動について	
子ども達に多くの体験をさせる為の工夫を十分に行った。	B
生活習慣の指導について、一人一人を観察し対応している。	
子ども達の発達状況を把握している。	
子ども達が興味をもてるような活動内容を常に考え実践している。	
教育効果を高める為の事前準備は万全である。	
自然とかかわる力を育てる工夫を十分に行った。	
教師自ら、活動を楽しんで行っている。	
4. 保健・安全について	
子どもの視診は、登園時及び降園時に必ず行っている。	A
危険回避の為に危険個所の把握に努めている。	
安全管理について、年齢に応じた言葉や方法で指導を行った。	
うがい・手洗い等の基本的な生活習慣の習慣化が図れた。	
万一に備え、事故発生時の対応を確認している。	
自らも体調管理には十分注意している。	
感染症予防に対して園の対応をしっかり認識し対策に努めた	
5. 学級経営について	
子どもの気持ちを理解し十分に遊びにかかわった。いっしょに遊んだクラスをまとめ全員が仲良く楽しく生活できるよう工夫している。	B
子どもの気持ちに十分配慮し個人を尊重した指導を行っている。	
子ども達とのスキンシップは、一人一人全員に十分行っている。	
子どもの話をしっかり聞くよう心がけ実行している。	
教師としての品格を心がけた言葉や態度で子ども達に接している。	
6. 研修について	
研修には常に自らのテーマを持って積極的に参加している。	C
研修で得た内容が毎日の教育活動及び私生活に生かされた。	
今後研究したい課題やテーマがある。	
7. 保護者・地域との関りについて	
子どもの成長について保護者との連携を十分に行っている。	B
担当するクラスの保護者との意思の疎通が十分に図れている。	
保護者のクレーム・相談等には園を代表する意識で誠実に対応している。	
8. その他	
自らが求める教師像に向かって努力した。	B
マヤ幼稚園(組織)の一員として協働することができた。	
私生活を含め常に教師としての自覚と責任を意識している。	
教職員間での話し合いの機会を十分にとり、連携の向上を意識している。	